

仙台市ひとにやさしいまちづくり条例施行規則（平成八年仙台市規則第六十三号）新旧対照表

現行		改正後	
別表第一（第三条関係） イ～ニ 略 ホ 建築物以外の路外駐車場		別表第一（第三条関係） イ～ニ 略 ホ 建築物以外の路外駐車場	
公益的施設	指定施設	公益的施設	指定施設
駐車場法（昭和三十二年法律第百六号）第二条第二号に規定する路外駐車場（機械式駐車場を除く。）	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 （平成十八年法律第九十一号）第二条 第十号 <u>第十三号</u> に規定する特定路外駐車場	駐車場法（昭和三十二年法律第百六号）第二条第二号に規定する路外駐車場（機械式駐車場を除く。）	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 （平成十八年法律第九十一号）第二条 第十号 <u>第十三号</u> に規定する特定路外駐車場
別表第二（第四条関係） イ 建築物		別表第二（第四条関係） イ 建築物	
整備項目	整備基準	整備項目	整備基準
一～三 略	略	一～三 略	略
四 エレベーター	直接地上へ通ずる出入口がない階を有する公益的施設で用途面積の合計が二千平方メートル を超える ものには、籠が当該階（専ら駐車場の用に供される階）にあっては、当該駐車場に車椅子使用者が円滑に	四 エレベーター	直接地上へ通ずる出入口がない階を有する公益的施設で用途面積の合計が二千平方メートル を超える <u>以上の</u> ものには、籠が当該階（専ら駐車場の用に供される階）にあっては、当該駐車場に車椅子使用者が円滑に

	<p>利用できる部分（以下「車椅子使用者用駐車施設」という。）が設けられている階に限る。）に停止する次に定める構造のエレベーターを設けること。ただし、当該階において提供されるサービス又は販売される物品を身体障害者等が享受し、又は購入することができる措置を講ずる場合においては、この限りでない。</p> <p>(1) 籠の床面積は、一・八三平方メートル以上とすること。</p> <p>(2) 籠の _____ _____奥行きは、内のりを一・三五メートル以上とすること。</p> <p>(3)～(9) 略</p> <p>(10) 籠内及び乗降ロビーに設ける制御装置（(9)に規定する制御装置を除く。）は、視覚障害者が円滑に操作することができる構造とすること。</p> <p>(11)・(12) 略</p>
五・六 略	略
七 駐車場	<p>1 駐車場（共同住宅等に設けられるものを除く。）には、次に定める基準に適合する車椅子使用者用駐車施設を設けること。</p> <p>(1) 略</p>

	<p>利用できる部分（以下「車椅子使用者用駐車施設」という。）が設けられている階に限る。）に停止する次に定める構造のエレベーターを設けること。ただし、当該階において提供されるサービス又は販売される物品を身体障害者等が享受し、又は購入することができる措置を講ずる場合においては、この限りでない。</p> <p>【削る】</p> <p>(1) 籠の幅は、内のりを一・四メートル以上とし、 _____奥行きは、内のりを一・三五メートル以上とすること。</p> <p>(2)～(8) 略</p> <p>(9) 籠内及び乗降ロビーに設ける制御装置（(8)に規定する制御装置を除く。）は、視覚障害者が円滑に操作することができる構造とすること。</p> <p>(10)・(11) 略</p>
五・六 略	略
七 駐車場	<p>1 駐車場（共同住宅等に設けられるものを除く。）には、次に定める基準に適合する車椅子使用者用駐車施設を設けること。</p> <p>(1) 略</p>

	<p>(2) 幅は、三・五メートル以上と_____すること。</p> <p>(3) 略</p> <p>【新設】</p> <p>【新設】</p>
	2 略
八 敷地内の通路	<p>敷地内の通路は、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) 表面は____、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</p> <p>(2)～(5) 略</p> <p>(6) 敷地内の通路に設けられる傾斜路及びその踊場は、_____二の項6の(1)から_____(7)までに定める構造とすること。</p>
九～十九 略	略

ロ 建築物以外の公共交通機関の施設

	<p>(2) 幅は、三・五メートル以上とし、奥行きは、<u>六メートル以上</u>とすること。</p> <p>(3) 略</p> <p><u>(4) 床面又は地面は、水平とすること。</u></p> <p><u>(5) 表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</u></p>
	2 略
八 敷地内の通路	<p>敷地内の通路は、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) 表面は、<u>平たんで</u>、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</p> <p>(2)～(5) 略</p> <p>(6) 敷地内の通路に設けられる傾斜路及びその踊場は、<u>(1)並びに</u>二の項6の(1)から<u>(4)まで並びに(6)及び(7)</u>_____に定める構造とすること。</p>
九～十九 略	略

ロ 建築物以外の公共交通機関の施設

整備項目	整備基準
一～四 略	略
五 エレベーター	<p>エレベーターを設ける場合においては、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) 籠の<u>床面積は、一・八三平方メートル</u>以上とすること。ただし、籠の出入口が複数あるエレベーターであって、次に定める構造のものについては、この限りでない。</p> <p>ア 略</p> <p>イ 籠の<u>幅が、内のり</u>を〇・九五メートル以上とするもの。</p> <p>ウ 籠の奥行きが、内のりを一・三五メートル以上とするもの。</p> <p>【新設】</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) イの表四の項(2)及び(4)から(12)までに定める構造のものとする。</p>
六～九 略	略
ハ 道路	
整備項目	整備基準
一 歩道、自転車歩	歩道等を設ける場合においては、次に定める構造

整備項目	整備基準
一～四 略	略
五 エレベーター	<p>エレベーターを設ける場合においては、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) 籠の<u>内のり幅は、一・四メートル</u>以上とすること。ただし、籠の出入口が複数あるエレベーターであって、次に定める構造のものについては、この限りでない。</p> <p>ア 略</p> <p>イ 籠の<u>内のり幅</u>を〇・九五メートル以上とするもの。</p> <p>【削る】</p> <p>(2) 籠の内のり奥行きは、一・三五メートル以上とすること。</p> <p>(3) 略</p> <p>(4) イの表四の項(3)から(11)までに定める構造のものとする。</p>
六～九 略	略
ハ 道路	
整備項目	整備基準
一 歩道、自転車歩	歩道等を設ける場合においては、次に定める構造

<p>行者道その他これらに類するもの（以下「歩道等」という。）</p>	<p>とすること。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) <u>路面は、水はけがよく、粗面とし、又は滑りにくい材料で平坦に仕上げること。</u></p> <p>(3)～(10) 略</p>	<p>行者道その他これらに類するもの（以下「歩道等」という。）</p>	<p>とすること。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) <u>舗装は、平たんで、滑りにくく、かつ、水はけの良い仕上げとすること。</u></p> <p>(3)～(10) 略</p>
<p>二 立体横断橋及び地下横断歩道（以下この項において「立体横断施設」という。）</p>	<p>立体横断施設を設ける場合においては、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) <u>表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</u></p> <p><u>【新設】</u></p> <p><u>【新設】</u></p> <p><u>【新設】</u></p> <p>(2) <u>幅員は、内のりを一・五メートル以上とすること。</u></p> <p>(3) <u>階段は、次に定める構造とすること。</u></p> <p>ア～キ 略</p> <p><u>【新設】</u></p>	<p>二 立体横断橋及び地下横断歩道（以下この項において「立体横断施設」という。）</p>	<p>立体横断施設を設ける場合においては、次に定める構造とすること。</p> <p>(1) <u>通路は、次に定める構造とすること。</u></p> <p><u>ア 有効幅員は、二メートル以上とすること。</u></p> <p><u>イ 路面は、平たんで、滑りにくく、かつ、水はけの良い仕上げとすること。</u></p> <p><u>ウ 必要に応じて、線状ブロックを敷設すること。</u></p> <p><u>【修正の上、(1)アへ移動】</u></p> <p>(2) <u>階段は、次に定める構造とすること。</u></p> <p>ア～キ 略</p> <p><u>ク 路面は、平たんで、滑りにくく、かつ、水</u></p>

【新設】

(4) 略

(5) 必要に応じて、線状ブロックを敷設すること。

(6) 歩道等の路面から立体横断施設の底部までの高さが二メートル以下である部分には、視覚障害者の衝突を防止するために必要な高さの柵を設けること。

(7) 地下横断歩道は、十分な明るさを確保すること。

(8) 必要に応じて、次に定める構造の傾斜路及びその踊場を設けること。

ア 幅は、内のを一・五メートル（段を併設する場合にあっては、一・二メートル）以上とすること。

イ 勾配は、十五分の一を超えない こと。

ウ～オ 略

カ 表面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で
仕上げること。

丰 略

はけの良い仕上げとすること。

ケ 階段の両側には、十センチメートル程度の
立ち上がり部及び柵その他これに類する工作
物を設けること。ただし、側面が壁面である
場合においては、この限りでない。

(3) 略

【(1)ウに移動】

(4) 歩道等の路面から立体横断施設の底部までの高さが二・五メートル以下である部分には、視覚障害者の衝突を防止するために必要な高さの柵を設けること。

(5) 地下横断歩道は、十分な明るさを確保すること。

(6) 必要に応じて、次に定める構造の傾斜路及びその踊場を設けること。

ア 幅は、内のを二メートル
 以上
 とすること。

イ 勾配は、五パーセント以下とすること。

ウ～オ 略

カ 路面は、平たんで、滑りにくく、かつ、水
はけの良い仕上げとすること。

丰 略

ク 壁面に接していない縁は、高さ五センチメートル以上の立ち上がりの設置その他の方法により身体障害者等が転落することを防止する構造とすること。

ケ 略

(9) 必要に応じて、次に定める構造のエレベーターを設けること。

ア 籠の床面積は、二・〇九平方メートル

以上とすること。

イ 籠の奥行きは、内の一・三五メートル以上とすること。

ウ～タ 略

(10) 必要に応じて、次に定める構造のエスカレーターを設けること。

ア 幅は、内の一メートル程度とすること。

イ～エ 略

ク 傾斜路の両面には三十五センチメートル程度の立ち上がり部及び柵その他これに類する工作物を設けること。ただし、側面が壁面である場合においては、この限りでない。

ケ 略

(7) 必要に応じて、次に定める構造のエレベーターを設けること。

ア 籠の内の一・五メートル以上とし、内の一・五メートル以上とすること。ただし、籠の出入口が複数あるエレベーターであって、車椅子使用者が円滑に乗降できる構造のもの（開閉する籠の出入口を音声により知らせる装置が設けられているものに限る。）にあつては、籠の内の一・四メートル以上とし、内の一・三五メートル以上とすること。

【(7)ア中に移動】

イ～ソ 略

(8) 必要に応じて、次に定める構造のエスカレーターを設けること。

ア 幅は、内の一メートル以上とすること。

イ～エ 略

三・四 略	略
ニ 公園	
整備項目	整備基準
一 略	略
二 園路その他これに類するもの（以下「園路等」という。）	一の項に定める構造の出入口に通ずる車椅子使用者が利用する園路等のうち主要な園路においては、次に定める構造とすること。 (1)～(6) (7) 段を設ける場合においては、ハの表二の項(2)及び(3)（エ及びキ_____を除く。）に定める構造及び次に定める構造とすること。 【新設】 ア 必要に応じて、両側に連続した手すりを設けること。 イ 踏面、蹴上げ及び段鼻は、原則として識別しやすいものとすること。 (8)・(9) 略
三～七	略
ホ 略	

三・四 略	略
ニ 公園	
整備項目	整備基準
一 略	略
二 園路その他これに類するもの（以下「園路等」という。）	一の項に定める構造の出入口に通ずる車椅子使用者が利用する園路等のうち主要な園路においては、次に定める構造とすること。 (1)～(6) (7) 段を設ける場合においては、ハの表二の項(2)_____（エ及びキ <u>からケまでを</u> 除く。）に定める構造及び次に定める構造とすること。 <u>ア 幅は、内のりを一・五メートル以上とすること。</u> <u>イ</u> 必要に応じて、両側に連続した手すりを設けること。 <u>ウ</u> 踏面、蹴上げ及び段鼻は、原則として識別しやすいものとすること。 (8)・(9) 略
三～七	略
ホ 略	

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、令和三年七月一日から施行する。ただし、別表第一ホの表駐車場（昭和三十二年法律第百六号）第二条第二号に規定する路外駐車場（機械式駐車場を除く。）の項の改正規定は、令和三年四月一日から施行する。

（経過措置）

- 2 改正後の別表第二の規定は、この規則の施行の日以後に仙台市ひとにやさしいまちづくり条例（平成八年仙台市条例第三十号）第九条第一項の規定による届出がされる指定施設又は同条例第十三条第一項の申請がされる公益的施設に適用し、同日前に当該届出又は申請がされた施設については、なお従前の例による。